

ギニア月報(2018 年 7 月)

主な出来事

【内政】

- 24 日, 大統領令により, ギニア養殖庁(Agence Nationale de l'Aquaculture de Guinee: ANAG)が設置され, シディキ・ケイタ粗放養殖局長が初代長官に任命された。

【外政】

- 3 日, ギニア大統領府は, モーリタニアで開催された第31回AU総会において, アフリカ鉱物開発センター(African Minerals Development Centre:AMDC)をギニアに設置することが決定された旨発表。AMDC は, アフリカ鉱業ビジョン(Africa Mining Vision:AMV)及びアフリカ大陸鉱物資源開発政策の実施を担当する, AU 初の専門機関。
- 6 日, コンデ大統領は, カリル・カバ官房長官を, 中国との戦略的パートナーシップ・フォローアップ委員会委員長に任命。同職は, これまで, カソリー・フォファナ現首相が担当していた。
- 31 日, ギニアを訪問中の北朝鮮労働党の代表団(団長:Ryu Myong Son 党中央委副部長)は, 北朝鮮大使館にて PDG-RDA 党幹部らと面会。また同日, 同代表団は, 与党 RPG 党のサルム・シセ書記長とも面会した。

【経済(経済協力含む)】

- 10 日, ディアネ国防大臣は, ボケ県の爆薬・小型武器製造工場の建設予定地を訪問。工事の順調な進捗状況を歓迎し, 数か月後の竣工ののち爆薬の違法輸入が制限されることへの期待を述べた。同工場建設は, 中国企業が請け負い, 2 か月程度で竣工予定。9.5 ヘクタールの土地に, 1 日あたり 60~70 トン(年間 2 万トン)の爆薬生産が可能な工場の建設の他, 事務所, 従業員宿舍, 安全管理システム, 検査場, 化学製品保管所等の建設及び排水整備も含まれている。製造従事者として 80 人, 補助要員として 140 人を雇用予定。

1 内政

- ・ 1 日, 政府は, ガソリン代を 1 リットルあたり 8,000 ギニアフランから 10,000 ギニアフランに値上げすることを発表。
- ・ 5 日, 国民議会は, 独立選挙委員会(CENI)の改革案を採択。委員数が 25 人から 17 人に縮小される。
- ・ 24 日, 大統領令により, ギニア養殖庁(Agence Nationale de l'Aquaculture de Guinee:ANAG)が設置され, シディキ・ケイタ粗放養殖局長が初代長官に任命された。

2 外政

- ・ 1 日及び 2 日, コンデ大統領は, モーリタニア・ヌアクショットにて開催された第 31 回AU総会に出席。

- ・ 3 日、ギニア大統領府は、モーリタニアで開催された第31回AU総会において、アフリカ鉱物開発センター(African Minerals Development Centre:AMDC)をギニアに設置することが決定された旨発表。AMDC は、アフリカ鉱業ビジョン(Africa Mining Vision:AMV)及びアフリカ大陸鉱物資源開発政策の実施を担当する、AU 初の専門機関。
- ・ 6 日、コンデ大統領は、カリル・カバ官房長官を、中国との戦略的パートナーシップ・フォローアップ委員会委員長に任命。同職は、これまで、カソリー・フォファナ現首相が担当していた。
- ・ 9 日、コンデ大統領はトルコを訪問し、エルドアン・トルコ大統領の就任式に出席。
- ・ 9 日、カソリー・フォファナ首相は、ギニア訪問中のチャンバス(Mohammed Ibn Chambas)西アフリカ・サヘル地域担当国連事務総長特別代表(SRSG)と会談。チャンバス SRSG は、CENI 改革を歓迎したほか、ガソリン代値上げは国際的な流れであり、ギニア国民はそれを受け入れなければならないと言及。
- ・ 16 日、コンデ大統領は、国連本部(ニューヨーク)で開催された持続可能な開発のためのハイレベル政治フォーラムに出席。ジェネ・ケイタ協力・アフリカ統合大臣及びカニー・ディアロ計画・経済発展大臣が同行。
- ・ 30 日及び 31 日、コンデ大統領は、ロメ(トーゴ)で開催されたECOWAS/ECCAS合同首脳会議に出席。同行者は、ティブー・カマラ大統領府付国務大臣、大統領特別顧問、産業・中小企業大臣、キリディ・バングラ大統領府事務総長、ママディ・トゥーレ外務大臣、アルファ・イブライマ・ケイラ治安・市民保護大臣。
- ・ 31 日、ギニアを訪問中の北朝鮮労働党の代表団(団長:Ryu Myong Son 党中央委副部長)は、北朝鮮大使館にて PDG-RDA 党幹部らと面会。また同日、同代表団は、与党 RPG 党のサルム・シセ書記長とも面会した。

3 経済(経済協力含む)

- ・ 10 日、ディアネ国防大臣は、ボケ県の爆薬・小型武器製造工場の建設予定地を訪問。工事の順調な進捗状況を歓迎し、数か月後の竣工ののち爆薬の違法輸入が制限されることへの期待を述べた。同工場建設は、中国企業が請け負い、2 か月程度で竣工予定。9.5 ヘクタールの土地に、1 日あたり 60～70 トン(年間 2 万トン)の爆薬生産が可能な工場の建設の他、事務所、従業員宿舎、安全管理システム、検査場、化学製品保管所等の建設及び排水整備も含まれている。製造従事者として 80 人、補助要員として 140 人を雇用予定。

(了)